



ROCK PAINT

変性エポキシ樹脂プライマー

ロックエポキシ

ハイプライマー

付着・浸透性がよく
防錆効果にすぐれる

ホルムアルデヒド放散等級

F☆☆☆☆

居室内で無制限に使用できます

日本建築学会材料規格

JASS 18 M-109
適合品



ロックペイント 株式会社

ロックエポキシハイプライマー

ロックエポキシハイプライマーは、特殊変性エポキシ樹脂と高性能な防錆力をもつ特殊防錆顔料を配合した、二液型の変性エポキシ樹脂プライマーです。浸透性がよく、付着性がすぐれるため、塗り替え塗装における下地調整の簡略化、乾燥時間の短縮化を可能にし、あらゆる上塗り塗料も適応できるため、鉄鋼構造物の塗り替えに大きな威力を発揮します。

用 途

- 屋内外の鉄鋼構築物、金属機器類の新設および塗り替え用下塗りとして
- トタン屋根、亜鉛メッキ鋼板の塗り替え用プライマーとして



特 長

1 すぐれた浸透性と防錆力

特殊浸透型エポキシ樹脂の使用で、付着、浸透性にすぐれ、浸透したプライマーが錆と化学反応を起こして錆の進行を妨げる効果をもっています。また亜鉛メッキ鋼板などの非鉄金属面に対して付着性にすぐれ、直接塗装することができます。

2 各種旧塗膜にも直接塗装可能

合成樹脂調合ペイント、ウレタン樹脂塗料など、活膜状態の各種旧塗膜に対して付着性にすぐれています。さらに上塗りには、各種弱溶剤二液型塗料をはじめ、トタン屋根用塗料、合成樹脂調合ペイントなどあらゆる種類の塗料が塗装可能です。

(ただし水性塗料、弱溶剤一液型NAD系塗料〔1液ユメロックスを除く〕には適しません。)

3 環境にやさしい防錆顔料を使用

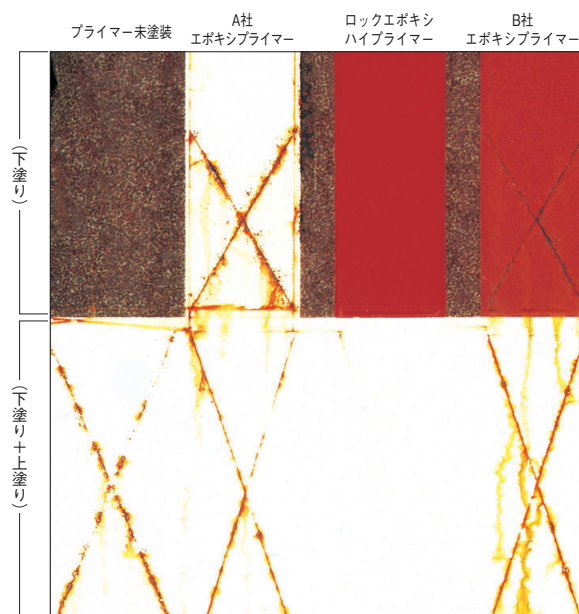
防錆顔料として高性能特殊防錆顔料を採用しており、鉛・クロム化合物などの有害物に該当するものを使用していないため、環境にやさしく、防錆力もすぐれています。

4 すぐれた作業性

ハケ、ローラー、エアレスなどいずれの塗装器具でも塗装でき、美しく仕上がります。

〔防錆性比較試験〕

<試験結果>



試験塗板：鋼板20日屋外放置、2種ケレン後各種下塗り塗装
上塗りには二液型ウレタン系を塗装。

試験方法：クロスカット後、耐塩水噴霧試験400時間実施。
テープ剥離にて腐食性判定。

種類と容量

品 名	容 量	色	消防法 第4類
ロックエポキシハイプライマー ブラウン	15kg		第二石油類
ロックエポキシハイプライマー グレー	15kg		第二石油類
ロックエポキシハイプライマー ホワイト	15kg		第二石油類
ロックエポキシハイプライマー 硬化剤	3kg	—	第二石油類
ロックエポキシハイプライマー 低温用硬化剤	3kg	—	第二石油類
ハイプライマーシンナー	16L	—	第二石油類

※色は印刷のため実際の色と多少異なります。

防錆力にすぐれ、浸透性のある変性エポキシ樹脂プライマー

付着適性

◇旧塗膜に対する塗装適性

種 類	弊社該当製品	適性
合成樹脂調合ペイント	ロックコート(F4)	○
フタル酸樹脂エナメル	ロックタフコート	○
アクリル樹脂エナメル	—	○
塩化ビニル樹脂エナメル	—	○
塩化ゴム系塗料	—	○
トタン、鋼製屋根用塗料	ロックタンペイント 1液ユメロックルーフ ハイパーユメロックルーフなど	○
弱溶剤二液型NADシリコン系樹脂塗料	ユメロック ハイパーユメロックなど	○*
エポキシ樹脂塗料	—	○
建築用ポリウレタン樹脂塗料	—	○
二液常温硬化型フッ素樹脂塗料	サンフロンUV	○*
各種水性エマルジョン樹脂塗料	ハイパービルロックセラなど	○

注) ●旧塗膜は塗装後数年以上を前提としています。
●旧塗膜が塗料用シンナーで溶解する場合はちぢみを生ずることがありますので、試し塗りを行ってから使用してください。
●上記以外の適用性につきましては最寄りの営業所へお問い合わせください。
※ 表面あらしなどの前処理が必要。

◇塗装適性のある上塗り塗料

種 類	弊社該当製品	適性
合成樹脂調合ペイント	ロックコート(F4)	○
フタル酸樹脂エナメル	ロックタフコート	○
トタン屋根用塗料	ロックタンペイント 1液ユメロックルーフ	○
弱溶剤二液型NADシリコン系樹脂塗料	ユメロック ハイパーユメロックルーフ ハイパーユメロック	○
二液型アクリルウレタン樹脂塗料	ハイロックDX	○
建築用ポリウレタン樹脂塗料	—	○
二液常温硬化型フッ素樹脂塗料	サンフロンUV	○

注) ●水性塗料および弱溶剤1液架橋型塗料は上塗りとして使用できません。
●ロックエポキシハイプライマーの乾燥が不十分な場合は、アミンブリードを起こすことがあります。
●F☆☆☆☆仕様の場合は、上塗り塗料もF☆☆☆☆の製品をご使用ください。(ユメロック、ハイパーユメロック、サンフロンUVなど)
●高日射反射率(遮熱)塗料で仕上げる場合、下塗り塗装は専用のプライマーをご使用ください。

配合・乾燥時間・可使時間・標準塗付量・塗り面積

◇配合

ロックエポキシハイプライマー 主剤 5 : 1 ロックエポキシハイプライマー 硬化剤 (重量比)

- 使用前は缶の底から十分にかき混ぜ均一にしてください。配合後、十分に混ぜ合わせてください。
- 気温15℃以下の場合は、低温用硬化剤を使用してください。

◇乾燥時間・可使時間

気 温	10℃	23℃	30℃
指 触 乾 燥	60分	40分	35分
硬 化 乾 燥	14時間以上	8時間以上	6時間以上
可 使 時 間	12～14時間	8～9時間	7～8時間

- 配合後は可使時間内に使い切ってください。特に夏場の高温時はご注意ください。
- 天候状態、膜厚、被塗物の状態などにより、多少異なります。
- 上塗り塗装は硬化乾燥後、14日以内に行ってください。

◇標準塗付量及び塗り面積(ハケ・ローラー)

標準塗付量 (kg / m ² ・回)	0.14～0.16
塗り面積 (m ² / 18kgセット・回)	112～128

※標準塗付量は標準的な塗装を行う際のもので、塗装時のロスを考慮に入れた数値です。素地の状態、形状、塗装方法などによって多少異なります。

標準塗装仕様

◇一般鉄部、亜鉛メッキ鋼板、アルミニウム、トタン板囲い等の塗り替え

工 程	使用塗料	希釈剤	塗装方法及び希釈率 (%)	塗装回数	標準塗付量 (kg / m ² ・回)	塗り重ね可能時間 (23℃)
下地調整	旧塗膜ではがれかかった部分、ふくれ部分は皮スキ、ワイヤーブラシ等のケレン具で、浮き塗膜、サビなどは電動工具、手工具で除去する。チョーキングした面、汚れ、じんあいなどはサンドペーパー、ウエス等で除去し、乾燥した清浄な面とする。					
下塗り	ロックエポキシハイプライマー(各色) 配合比 主剤：硬化剤=5：1	ハイプライマーシンナー	ハケ・ローラー： 0～ 5 エアレス :10～15	1	0.14～0.16	8時間以上 14日以内
上塗り①	ユメロック指定色 配合比 主剤：硬化剤=9：1	塗料用シンナー	ハケ・ローラー： 5～15 エアレス :10～20	2	0.11～0.13	2時間以上
上塗り②	ハイパーユメロック指定色 配合比 主剤：硬化剤=9：1	塗料用シンナー	ハケ・ローラー： 5～15 エアレス :10～20	2	0.11～0.13	2時間以上 7日以内
上塗り③	サンフロンUV指定色 配合比 主剤：硬化剤=6.5：1	塗料用シンナー	ハケ・ローラー： 5～15 エアレス :10～20	2	0.12～0.14	3時間以上 14日以内

- 上塗り①は②③から選択してください。
- 仕様書の数値は標準的な塗装を行う際のもので、塗装時のロスを考慮に入れた数値です。素地の状態、気象条件、塗装方法などにより多少異なります。
- 夏場の高温時は、硬化反応が著しく速まるため、塗り重ね間隔はあまり日数を置かず速やかに実施してください。上塗りとの付着性が低下します。

施工上の注意事項

- ・塗る面のゴミ、かび、こけ、油分、枯葉などの汚れや、はがれかかった塗膜をよく取り除いてください。
- ・気温が低いときや湿度が高い場合には、完全な塗膜ができにくく十分な性能を発揮できませんので、気温5℃以下、湿度85%以上の塗装は避けてください。
- ・絶えず結露が発生するような場所、用途での使用は避けてください。
- ・塗料全体をよくかき混ぜ、均一にしてから使用してください。
- ・飛散防止のため必ず養生を行ってください。特に吹付け塗装の場合は注意してください。
- ・希釈には必ず指定のハイプライマーシンナーを使用してください。また必要以上に希釈するとたれや色分かれの原因になります。
- ・硬化剤は必ず専用硬化剤を使用してください。他の硬化剤を使用すると仕上がりが外観、塗膜性能に悪影響を及ぼします。
- ・硬化剤を配合した塗料は、時間の経過と共に増粘・固化して使用できなくなります。配合した塗料は可使時間内に使い切ってください。
- ・夏場の高温時は硬化反応が著しく速まるため、塗り重ね間隔はあまり日数を置かず速やかに実施してください。上塗りとの付着性が低下します。
- ・硬化剤はアミンブリード性の少ない、主剤との相溶性にすぐれたアダクトタイプですが、施工時及び硬化するまでの間、低温（5℃以下）になる箇所への使用はできません。
- ・降雨、降雪、強風などの場合、または天候不良が予測されるときは外部の塗装を避けてください。
- ・外部の塗装について、塗料臭気が室内に入らないように換気装置などを停止し、開口部などの養生を行ってください。
- ・塗装面の取り合い等で可塑剤が多く含まれる建材（塩ビ銅板、ラミネート銅板、プラスチック、ゴムパッキン、塩ビクロスなど）への直接の塗装は塗膜が軟化することがあり避けてください。また、これらの素材に塗膜が接触・付着しないように注意してください。
- ・サビについては完全に除去後、削りカス（サビ、鉄くず）を完全に除去してください。サビの発生の原因となります。
- ・硬くてまだつやのある塗膜や吸い込みのない面に塗装する際は、あらかじめサンドペーパーで面を荒らしてください。
- ・溶接接合部や下塗りにキズがある場合は、その部分が塗膜不良となりやすいので、素地調整後、補修塗装を行ってから塗装してください。
- ・トタンの折り曲げ部分、継ぎ目部分などは、膜厚が得られない場合がありますので、サビ止め塗料は先に拾い塗りすることをお奨めします。
- ・亜鉛メッキ銅板の目付量が多い場合には、3～4か月屋外放置しペーパー掛け後塗装してください。
- ・サビ止め塗装を工場で行う場合、下塗り塗膜のみで長期間放置しておりますと塗膜が傷

- ついたり劣化したりしますので、被塗物の保管、運搬に注意し、速やかに上塗り塗装してください。
- ・素地が濡れている時は塗装を避け、乾いてから塗ってください。また、素地が直射日光などで極端に熱くなっている時は少し冷えてから塗装してください。
- ・乾燥過程で霜、夜露などの影響を受ける時間帯や、昼と夜の温度差が大きい時期は、結露による曇りけ現象が起こる場合があるため、時間を考慮して塗装を行ってください。
- ・塗装時は、高い所から降り口を確保しながら塗装してください。塗りがたての面は滑りやすいので絶対に乗らないでください。塗り残しがあった場合も乾燥後に補修塗りをしてください。
- ・作業時の安全には十分注意し、高所で作業する場合は安全ロープをかけて行ってください。
- ・塗装作業中および乾燥中は換気を十分行い、その後も塗膜が完全に乾くまでの間は、ときどき換気を行ってください。
- ・上塗り塗料は必ず2回塗り以上で仕上げてください。
- ・改修塗装の場合、素地の種類や下地処理方法によって塗膜不良となる事があります。あらかじめ適切な処理を行い試し塗りすることをお奨めします。
- ・改修塗装の場合、脆弱な旧塗膜、汚れ、チョーキングなどはディスクサンダー、皮スキ、ワイヤーブラシなどで除去し、高圧洗浄を行った後、24時間以上乾燥させてください。（気温23℃、湿度65%の場合）
- ・仕様書の数値は標準的な塗装を行う際のもので、標準塗分量は塗装時のロスを考慮に入れた数値です。素地の状態、気象条件、塗装方法などによって異なる場合があります。
- ・塗り重ね可能時間（乾燥時間）は塗装現場の温度、湿度、風通し、素地の状態などにより、多少変わります。
- ・各工程の塗装間隔や塗分量、希釈量を守らなかった場合塗膜不良となる事があります。また、各工程において当社指定以外の材料を使用した場合は十分な性能が得られないことがあります。
- ・カタログに記載されていない素地及び塗装方法、工程で施工する場合、塗膜欠陥を起こすことがありますので、使用する前に最寄りの営業所へお問い合わせください。
- ・この塗料はホルムアルデヒド放散等級F☆☆☆☆タイプです。F☆☆☆☆以外の材料（被塗物、素地を含む）を使用したり、各工程の塗装間隔や塗分量、希釈量を守らなかった場合、F☆☆☆☆でなくなることがありますので注意してください。
- ・このカタログに記載されている上塗り塗料などの詳細な使用方法については、それぞれのカタログをご参照ください。
- ・取扱いの際は製品容器の注意書き、製品カタログおよび安全データシート（SDS）をよく読み、注意事項を厳守してください。

安全衛生上及び取扱い上の注意

〔製品の危険・有害性〕

- ・引火性の液体である。
- ・溶剤蒸気を吸入すると有機溶剤中毒になる恐れがある。
- ・大量又は継続的な暴露により重大な健康障害を引き起こす恐れがある。
- ・感作性があり、皮膚に付着するとかぶれやアレルギーを引き起こす恐れがある。
- ・主剤は変異原性の恐れがある物質を含有している。

〔救急処置〕

- ・目に入った場合には直ちに多量の水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
- ・誤って飲み込んだ場合には、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
- ・蒸気、ガスなどを吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所に安静にし、必要に応じて医師の診察を受けてください。
- ・皮膚に付着した場合には、多量の石鹸水で洗い落とし、痛み又は外観に変化のあるときは医師の診察を受けてください。

〔施工後の安全性について〕

- ・本製品群は揮発性の化学物質を含んでいますので、塗装後の引き渡しの際は、施主に対して安全性に十分注意を払うように指導ください。
- ・不特定多数の方が利用する施設を施工した場合は、ペンキ塗りたてであるなどの立看板などを設置し、化学物質過敏症ならびにアレルギー体質の方が接する事のないようご配慮願います。

〔取扱注意事項〕

- ・取扱いは引火源のないところで行い、特に静電気が発生するような衣服の着用や、取扱いは避けてください。
- ・取扱い作業所には局所排気装置を設け、塗装時及び乾燥時には十分換気を行ってください。
- ・溶剤蒸気やスプレーストを吸入しないように、必要に応じて有機ガス用防毒マスク又は送気マスクなどの適切な保護具を着用してください。
- ・できるだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて保護めがね、保護手袋（耐溶剤性）、長袖作業着などを着用してください。
- ・アレルギー体質の人は取り扱わないでください。
- ・取扱い後は手洗い及びうがいを十分に行ってください。
- ・作業着などに付着した汚れをよく落としてください。
- ・使用済みウエス、塗料かす、スプレーストなどは、廃棄するまで水をはった容器に保管してください。
- ・よくフタをして直射日光を避け、5℃以上 40℃以下の子どもの手の届かない一定の場所に保管してください。
- ・指定された以外の商品と混合しないでください。
- ・廃棄の際は関係法規に従って産業廃棄物処理業者に委託し処理してください。
- ・火災時には炭酸ガス、泡又は粉末消火器を用いてください。

安全データシート(SDS)をよく読んで取り扱ってください。

ロックペイント株式会社

東京営業部 〒136-0076 東京都江東区南砂2-37-2 大阪営業部 〒555-0033 大阪市西淀川区姫島3-1-47
TEL(03)3640-6000 FAX(03)3640-9000 TEL(06)6473-1650 FAX(06)6473-1000
札幌営業部 〒003-0011 札幌市白石区中央一条4-3-48 名古屋営業部 〒454-0059 名古屋市中川区福川町1-1
TEL(011)812-2761 FAX(011)812-9304 TEL(052)351-6500 FAX(052)361-7433
仙台営業部 〒983-0044 仙台市宮城野区宮千代2-3-11 遼正ビル201 岡山営業部 〒701-1134 岡山市北区三和1000番34
TEL(022)349-8677 FAX(022)283-3255 TEL(086)294-1201 FAX(086)294-6966
西関東営業部 〒252-0131 神奈川県相模原市緑区西橋本1-15-16 福岡営業部 〒811-0119 福岡県糟屋郡新宮町緑ヶ浜3-2-1
TEL(042)700-3111 FAX(042)700-3112 TEL(092)962-0661 FAX(092)963-1241

URL <https://www.rockpaint.co.jp>

●本カタログの内容については、予告なく変更することがありますのであらかじめご了承ください。
また記載内容について、法律で認められる範囲を超えての転載・複製を禁止します。

販 売 店